

商品名 クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠125mg「サワイ」 添付文書情報

一般名	クロルフェネシンカルバミン酸エステル125mg錠	薬価	6.50
規格	125mg 1錠	区分	
製造メーカー	沢井製薬	販売メーカー	沢井製薬
薬効	1. 神経系及び感覚器官用医薬品 12. 末梢神経系用薬 122. 骨格筋弛緩剤 1225. カルバメート系製剤		

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠125mg「サワイ」の用法・用量

通常成人1回クロルフェネシンカルバミン酸エステルとして250mg（2錠）を1日3回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠125mg「サワイ」の効能・効果

運動器疾患に伴う有痛性痙縮：腰背痛症、変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、脊椎分離症・脊椎迂り症、脊椎骨粗鬆症、頸肩腕症候群。

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠125mg「サワイ」の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

- 重大な副作用：
 - ショック（頻度不明）。
 - 中毒性表皮壊死症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）（頻度不明）。
- その他の副作用：
 - 精神神経系：（0.1～1%未満）めまい・ふらつき、ねむけ、（0.1%未満）頭痛・頭重感、倦怠感、脱力感。
 - 消化器：（0.1～1%未満）腹痛〔胃痛、胃部不快感を含む〕、＊消化不良〔＊：胃もたれ（膨満感、胃重感）、胸やけ、食欲不振を含む〕、嘔気、胃腸障害、（0.1%未満）下痢、便秘、口内乾燥、舌炎、悪心。
 - 血液：（頻度不明）白血球減少、血小板減少。
 - 過敏症：（0.1～1%未満）発疹〔皮疹、薬疹を含む〕、（0.1%未満）浮腫・腫脹感、そう痒感、口内炎、熱感。

頻度は承認時の一般臨床試験及び市販後の調査の合算に基づいている。

クロルフェネシンカルバミン酸エステル錠125mg「サワイ」の使用上の注意

【禁忌】

1. 本剤及び類似化合物（メトカルバモール等）に対し、過敏症の既往歴のある患者。
2. 肝障害患者。

【重要な基本的注意】

ねむけ、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。

【腎機能障害患者】

腎機能障害患者：The United States DISPENSATORY, 27th Ed.301（1973）及びMARTINDALE The Extra Pharmacopoeia, 26th Ed.1891（1972）に準拠した。

【肝機能障害患者】

- 1) 肝障害患者：投与しないこと（Modern Drug Encyclopedia, 13th Ed.155（1975）に準拠した）。
- 2) 肝障害の既往歴のある患者。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

【授乳婦】

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

【小児等】

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

【高齢者】

減量するなど注意すること（一般に生理機能が低下している）。

【相互作用】

2. 併用注意：フェノチアジン系薬剤（クロルプロマジン塩酸塩等）、中枢神経抑制剤（バルビツール酸誘導体等）、モノアミン酸化酵素阻害剤、アルコール〔相互に作用を増強することがあるので、用量を調節するなど注意すること（機序は不明である）〕。

【適用上の注意】

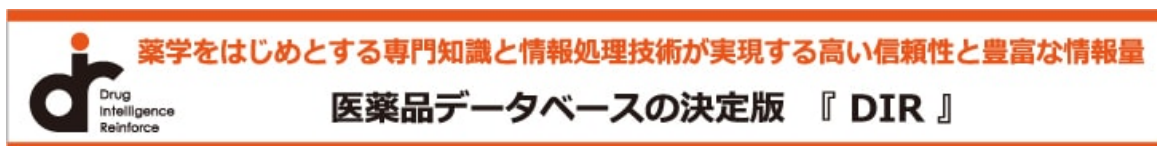
1. 薬剤交付時の注意：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある）。

【その他の注意】

1. 臨床使用に基づく情報：国内の臨床試験で8週間を超えた投与例は限られており、本剤を長期間投与する場合は、臨床検査（血液検査、尿検査及び肝機能検査等）を行うことが望ましい。

【保管上の注意】

室温保存。



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.